



番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
1	19	1-13	<p><b>保健機能食品</b></p> <p>国が安全性や有効性を考慮して設定した規格基準等を満たす食品で、食品の目的や機能等の違いにより栄養機能食品と特定保健用食品の二つに大別されている。これらの食品は保健機能食品制度(2001年4月から施行)によって規定されている。</p> <p>◆<b>栄養機能食品</b> 厚生労働大臣が定めた基準に従えば、食品に含まれている栄養素の機能を表示することができる。栄養素機能を表示するための基準が定められている栄養素は、現在17種類ある。</p> <p>◆<b>特定保健用食品</b> 身体の生理学的機能などに影響を与える保健機能成分を含む食品である。血圧・血中コレステロール値などの正常化をうながしたり、整腸作用など、特定の保健の目的が期待できる。代表的なものとして、食物繊維やオリゴ糖、その他にポリフェノール・ペプチドなどがある。</p>	<p>国が定めた安全性や有効性に関する基準などにしたがって機能性が表示されている食品で、食品の目的や機能などの違いにより機能性表示食品、特定保健用食品、栄養機能食品の三つに大別されている(図11)。これらの食品は食品表示法(2015年4月施行)に基づく食品表示基準によって規定されている。</p> <p>◆<b>機能性表示食品</b> 事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能を表示した食品である。販売前に、安全性や機能の根拠に関する情報などを消費者庁長官に届け出る必要がある。</p> <p>◆<b>特定保健用食品</b> 身体の生理学的機能などに影響を与える保健機能成分を含む食品である。表示されている効果や安全性については国が審査を行い、食品ごとに消費者庁長官が表示の許可を出している。特定保健用食品に含まれる代表的な成分として、食物繊維やオリゴ糖、ポリフェノール、ペプチドなどがある。</p>	客観的事情の変更に伴い誤りとなった事実の記載

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
1	19	23-28	<p>ペプチドは、2個以上のアミノ酸がペプチド結合した化合物の総称である。タンパク質を分解する過程で生成される。利点としては、複数のアミノ酸が結合していることで、多くの栄養素をいちどに摂取することができる。ダイズや海草類に由来するペプチドは、血圧・血中コレステロール値などの正常化を促進する作用が期待されている。</p>	<p>ペプチドは、2個以上のアミノ酸が結合した化合物の総称である。ヒトの体内では、タンパク質を分解する過程でももに生成される。ペプチドは、血圧を上昇させる酵素の働きをおさえ、血圧を低下させる。</p> <p>◆<b>栄養機能食品</b> 1日に必要な栄養成分が不足しがちな場合に、その補給・補完のために利用できる食品である。科学的根拠が確認された栄養成分について、国が定めた規格基準に適合すれば、とくに届け出などをせずに表示することができる。栄養機能食品として表示ができる成分は、ビタミンや無機質を中心に20種類ある。</p>	客観的事情の変更に伴い誤りとなった事実の記載

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
1	19	図 11 側注① 側注② 図 12	 <p>図 11 栄養機能食品と特定保健用食品</p> <p>①規格基準型 1日あたりの摂取めやす量に含まれる栄養成分量が定められた上・下限値の範囲内にある必要があるほか、栄養機能表示だけでなく、注意喚起表示等も表示する必要がある。</p> <p>②特定保健用食品 取製品ごとに食品の有効性や安全性について審査を受け、表示について国の許可を受ける。特定保健用食品および条件付き特定保健用食品には、許可マークが付される。</p> <p>シヨ糖： G-F</p> <p>フラクトオリゴ糖： <math>\begin{cases} G-F-F \\ G-F-F-F \\ G-F-F-F-F \end{cases}</math></p> <p>G：グルコース F：フルクトース</p> <p>図 12 フラクトオリゴ糖の構造式</p>	 <p>図 11 保健機能食品</p> <p>シヨ糖： G-F</p> <p>フラクトオリゴ糖： <math>\begin{cases} G-F-F \\ G-F-F-F \\ G-F-F-F-F \end{cases}</math></p> <p>G：グルコース F：フルクトース</p> <p>図 12 フラクトオリゴ糖の構造式</p>	客観的事情 の変更に伴 い誤りとな った事実の 記載

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
2	52	側注 ①	①エント <u>ロキシン</u> といい,	<u>テロト</u>	誤記等
3	131	8	その形態や特性により, <sup>にか</sup> 仁果類・準仁果類・核果	<sup>じん</sup> <u>仁</u>	誤記等